

2021年1月

査読者割引制度の試行について

論文集編集委員長 寺本 進

平素より、学会の論文誌に御協力いただき誠にありがとうございます。

皆様ご承知のように、学会の論文誌に投稿頂いた論文は同分野の専門家による査読を経て掲載可否を決定しています。査読は掲載論文の質を担保する上で欠かせないプロセスですが、一方で著者の立場からすると、いつ返事がくるか読めない不安な期間でもあります。

航空宇宙学会では原則として1ヶ月での査読をお願いしており、半数の方は期限内にお返事頂けていますが、1,2週間後になる方が約3割、それ以降になる方も2割程度いらっしゃいます。論文集編集委員会としても、査読期限を守っていただけるようお願いをしていますが、お忙しい中無理を言って査読を引き受けて頂いていたり、短期間で複数の査読をお願いしているケースもあり、強くお願いをするのが難しいことも少なくありません。

そこで、早期に査読して頂いた方へのお礼として、査読者を対象とする掲載料割引制度を設けることとしました。

具体的には、一つの論文について

初回査読を2週間以内に返送頂ければ25%、4週間以内に返送頂ければ10%
さらに2回目査読を1週間以内に返送頂ければ25%、2週間以内に返送頂ければ10%
を査読者が主著・共著として投稿される次回論文の掲載料から割引します。
本学会の論文掲載料は10万円近くするので、1編の査読で最大50%、約5万円の割引になります。

学会としては、この制度で査読と論文投稿の双方が活発になることを期待しておりますので、是非ご利用下さい。